指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和7年度分】

施設概要	名　　称	福津市複合文化センター
	所　在　地	福津市津屋崎1丁目7番2号
	設置条例	福津市複合文化センター条例
指定管理者	名　　称	福津市複合文化センター共同企業体
	代表者	代表企業　株式会社日比谷花壇　宮島　浩彰
	所　在　地	福岡市博多区博多駅南1丁目5-24 サンシティ博多2ビル1階
	指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日
所　　管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

Ⅰ　業務運営状況（運営状況・利用状況・収支状況）

【運営状況】
文化会館は年度を通じての大規模改修工事により閉館していたが、図書歴史資料館については開館日数・開館時間共に目標値どおりとなった。
【利用状況】
文化会館は休館ではあったが、図書・歴史資料館の利用者数、稼働率は目標値を上回る実績となった。休館前に文化会館にて実施していた事業を実施形態をエ夫する事で図書・歴史資料館で開催できたものもあり、その取り組みが利用者数等の増加につながったものと推測される。また、図書館や中央公民館、新東区公民館にて文化サークルは開催し、利用者の繋ぎ止めも功を奏している。
【収支状況】
収支820,664円の黒字を確保し、予算管理を適切に行うことができていた。カフェ売上の増加や自主事業収入の確保など、収益向上に向けた取り組みが成果を上げた一方で、必要な修繕や図書購入費の執行など、施設の質を維持するための支出も計画的に行われている。限られた財源の中で、サービス維持と財務健全性の両立を図れた点は評価できる。

Ⅱ　業務履行状況（基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等）

【基本的事項】
法令等の遵守や平等利用等について適正に業務履行がなされている。特に地域との連携や共働という面において、近隣小学校や地域団体、障がい者福祉作業所等との共同作業、市内在住アーティストとのコラボレーション事業など積極的な取り組みがなされている。また、文化会館休館中も中央公民館等の代替施設を活用することで、市の指定事業や自主事業を中断することなく継続できていた。
【執行体制】
適正な人員配置や関係各課等との密な連絡調整等、組織全体で管理運営にあたる体制が構築されている。従事者の資質・能力向上を図る研修に関しても計画通り実施されている。
【個人情報保護】
個人情報の管理が適切に行われている。研修に関しても、計画通り実施されている。
【緊急時対策】
緊急連絡網が整備されており、緊急時の対応や関係各課への報告が速やかに行われている。避難訓練の実施も計画通り行われている。施設内での事故発生時は、救急要請が適切に行われている。また駐輪場での自転車盗難や青少年による迷惑行為など、昨年度頻発した事件・事故に対しては、警察や学校、保護者と連携しながら迅速に対応し、安全確保に努める事ができていた。

Ⅲ　維持管理状況（施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等）

仕様書に基づき、法令基準に定められた保守点検や清掃が適正に実施されている。設備に不具合が発生した場合は、即座に状況把握の上で報告が行われ、協議でも複数の選択肢を提示し、利用者の安全性・利便性を維持するための迅速な対応がなされていた。
また警備面では、機械警備と巡回を組み合わせた体制を維持している。さらに、地域パトロール隊との協力や各種訓練の実施により、安全管理体制の強化を図る事ができていた。

Ⅳ　サービス向上への取組状況（運営全般・利用者サービスへの取組）

文化会館休館中という制約の中でもホームページやSNSの活用で施設利用、イベントの周知・集客に繋げている。歴史資料館ではVR体験コーナーも設置し、館内にいながら市の歴史の魅力に触れる機会を創出した。また市文化財課と連携し、文化財にちなんだカフェメニューの商品開発・販売を実施、その中においても障がい者支援施設提供の食材を使用するなどし、障がい者の社会参画の一助となると共にトピックとなるよう工夫を行っている。
館内の装飾に関しては、季節に合わせた装飾だけでなく、利用者参加型の装飾や障がい者支援施設と共同でプランターを設置するなどの工夫もみられる。また、カフェメニューにも前述の通り障がい者支援施設提供の食材を使用するなどし、障がい者の社会参画の一助となる取り組みを行っている。
デジタル化の面では、図書館のWeb予約率が97%に達し、オンラインサービスが市民に定着することに成功している。SNSを活用した情報発信も進み、幅広い世代へのアプローチが強化された。
利用者サービスでは、障がい者福祉作業所や地元店舗、アーティストとの連携による商品開発やワークショップ開催など、地域資源を活かした独自のサービスを展開している。子ども向けの「ぬいぐるみおとまり会」や「子ども司書体験」、大人の花育、コーヒー教室、終活講座など、全世代を対象とした多様な事業を実施し、利用者の幅広いニーズに応えている。さらに、認知症バリアフリー講座や読書支援コーナーの設置など、ユニバーサルサービスの充実も図られている。

◎モニタリング全般の総合評価コメント

◆　総合評価コメント

文化会館が大規模改修により休館する中、代替施設を活用して市民サービスと公共性の維持を最優先に計画に沿った事業展開がなされている。
また所管課と連携し施設運営及び維持管理を確実に履行している。一方で、施設内での迷惑行為や事件が課題となったが、こちらも所管課との連携の中でし迅速な対応が図られている。
大規模改修工事というハード面での制約がある中で、創意工夫を凝らした自主事業を展開し、多くの参加と好評の声を得る結果となっている。
総じて市モニタリングマニュアルにて示されているチェック項目に関しては、概ね良好に履行されている。

◆　今後の業務改善への考え方

現状の地域連携やサービス向上の成果を継承しつつ、文化会館の運用再開を機に更なる関係機関との連携を図り地域活性化を目指すことが求められる。今後予定している利用者や地域で活動する個人との直接対話の場としての『意見交換会』の内容を踏まえ、多様な主体との交流を通じ、地域に根ざした施設づくりと魅力あるまちづくりの推進を期待する。

指定管理者モニタリングチェックシート

【令和7年度分】

施設概要	名　　称	福津市複合文化センター
	所 在 地	福津市津屋崎1丁目7番2号
	設置条例	福津市複合文化センター条例
指定管理者	名　　称	福津市複合文化センター共同企業体
	代表者	代表企業　株式会社日比谷花壇　宮島　浩彰
	所 在 地	福岡市博多区博多駅南1丁目5-24 サンシティ博多2ビル1階
	指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日
所　　管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

Ⅰ　業務運営状況に対するチェック　（チェックシート①）

Ⅰ－1.　運営状況

評価項目	事業計画（目標）	事業実績	コメント
開館（開場）日数	287	287	図書・歴史資料館棟
開館（開場）時間	2870	2870	
自主事業開催数	65	91	文化会館34（文化サークル含まず）、歴史資料館12、図書館45

Ⅰ－2.　利用状況

評価項目		事業計画（目標）	事業実績	コメント
利用件数（件）	文化ホール	0	0	
	生涯学習センター	0	42	図書歴史資料館多目的室のみ
	計	0	42	
延べ利用者数（人）	文化ホール	0	0	
	生涯学習センター	0	811	図書歴史資料館多目的室のみ
	図書・歴史資料館	120,000	124,329	
	計	120,000	125,140	
事業参加者数（人）	文化ホール	0	0	
	生涯学習センター	1,100	1,393	文化サークル月当り申込人数含
	計	1,100	1,393	
稼働率（平均）（%）	文化ホール	0.0	0.0	
	生涯学習センター	0.0	31.7	図書歴史資料館多目的室のみ
	計	0.0	31.7	

Ⅰ－3.　収支状況

評価項目		事業計画（目標）	事業実績	コメント
利用料金収入	文化ホール	0	0	
	生涯学習センター	0	41,620	図書歴史資料館多目的室のみ
	図書・歴史資料館	5,000,000	7,331,444	
	計	5,000,000	7,373,064	
自主事業収入	計	1,671,000	1,821,516	
その他収入 自動販売機手数料など	計	80,000	3,725,933	
指定管理(指定管理経費) ※指定管理料増額含		106,513,000	106,513,000	
収入合計		113,264,000	119,433,513	
人件費		74,445,000	74,445,000	
使用料および賃借料		559,000	423,972	
維持管理費		24,818,000	28,432,283	
総務費		2,290,000	2,292,356	
事業費		11,144,000	13,017,838	
租税公課		8,000	1,400	
予備費		0	0	
支出合計		113,264,000	118,612,849	
収支差引		0	820,664	

Ⅰ　業務運営状況の総合評価コメント

【運営状況】

文化会館は年度を通じての大規模改修工事により閉館していたが、図書歴史資料館については開館日数・開館時間共に目標値どおりとなった。

【利用状況】

文化会館は休館ではあったが、図書・歴史資料館の利用者数、稼働率は目標値を上回る実績となった。休館前に文化会館にて実施していた事業を実施形態を工夫する事で図書・歴史資料館で開催できたものもあり、その取り組みが利用者数等の増加につながったものと推測される。また、図書館や中央公民館、新東区公民館にて文化サークルは開催し、利用者の繋ぎ止めも功を奏している。

【収支状況】

収支820,664円の黒字を確保し、予算管理を適切に行うことができていた。カフェ売上の増加や自主事業収入の確保など、収益向上に向けた取り組みが成果を上げた一方で、必要な修繕や図書購入費の執行など、施設の質を維持するための支出も計画的に行われている。限られた財源の中で、サービス維持と財務健全性の両立を図れた点は評価できる。